

鎌田地区 お宝発掘事業

鎌田地区お宝発掘事業は、鎌田地区の新たなお宝を見つけ出し地域の魅力を再発見することを目的として実施しました。各町会にある様々なお宝を集め、地元の魅力をより多くの住民に知ってもらうこと、そして地域の大切な資源であるお宝を通して、地域資源の活用を考えました。

本事業を通して歴史的なお宝や町会の変遷を辿るお宝など、多様なジャンルのものが集まりました。

このマップで紹介したもの以外にも、町会の歩みをまとめたお宝やお宝人として特技を活かして活躍している方、輝かしい功績を取られた方など、鎌田地区にはたくさんのお宝があります。



第1回鎌田地区お宝発表会(平成27年度)



第2回・第3回 鎌田地区お宝展示コーナー (平成28・29年度)



鎌田地区のお宝たち

◇歴史的なお宝

- ・お神輿(石芝東町会)
- ・お八日念仏 掛け軸・数珠(両島町会)
- ・鎌田菅公廟趾碑 拓本(鎌田町会)
- ・古文書「区内集議諸事記録」(両島町会)
- ・和太鼓(石芝東町会)

◇変遷を辿るお宝

- ・井川城下区町会航空写真
- ・高宮町会航空写真

◇歌い継がれるお宝

- ・笹部小唄
- ・月見町支え合いソング「月見 de サンバ」

◇季節のお宝

- ・こいのぼり(弥生町町会)など
町会の季節行事

◇食と風景のお宝

- ・町会で栽培している小松菜など

◇町会の歩みを知るお宝

- ・鎌田地区球技大会の優勝旗など

◇住民のお宝

- ・町会住民の自慢のコレクション

◇お宝人

- ・そば打ちや表具の達人



鎌田地区の宝と文化財

1 井川城跡

住 所 井川城1-8 町会名 井川城下区

井川城跡は、室町時代に信濃守護小笠原貞宗(1292~1347)が伊那郡松尾(現在の飯田市)から居館を移した「井河の城(館)」の推定地。

平成25・26年度に行われた発掘調査のときには建物跡や多くの出土品、威信財(青磁の盤や瓶など)の一部も見つかりました。平成29年には国指定史跡となり、松本の歴史を語るうえで井川城跡は松本城と共にとても貴重な歴史遺産です。



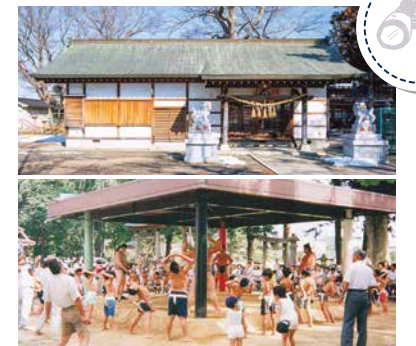
3 野々宮神社と土俵

住 所 笹部2-8-3 町会名 笹部

土俵は昭和61年に建立。

平成8年には二十山部屋はたちやまの夏季合宿が行われました。当日は多くの地域住民が集まり、稽古風景の見学や子どもたちが相撲部屋はたちやまの力士に稽古をつけてもらうなど、賑わいをみせました。

また、毎年行う野々宮神社例大祭では子どもたちによる奉納相撲大会がこの土俵で開催されています。



5 高宮町のグラウンド

住 所 高宮南7-40 町会名 高宮

面積は約7,500㎡弱の広さです。

春にはグラウンド周辺の桜が見事に咲いてお花見ができ、秋には町内運動会もこのグラウンドで開かれます。

また、公民館に隣接しているため、災害時の一時避難所としても活用できる町会のお宝です。



2 鎌田北向観音堂

住 所 鎌田1-13-28 町会名 鎌田

井川の城主小笠原氏代々の祈願所として、また江戸時代には松本札所三十三番の八番として、広く民衆の信仰を集めました。明治維新の廃仏毀釈によって廃寺となりましたが、観音堂は難を免れ地元鎌田の世話人衆によって守り伝えられ、今日に至ります。

また、鎌田学校発祥の地ともされ、昭和43年に石碑が建てられました。



4 善光寺 西光庵

住 所 征矢野2-4-3 町会名 征矢野

善光寺西光庵は曹洞宗全久院の末寺。現在の西光庵本尊である善光寺如来像は文政6年(1823)4月に作製されたものが鎮座しています。敷地内には、等身大の地藏、六地藏、青面金剛、観音像も遷座しています。西光庵の宝物として曼陀羅、閻魔様、涅槃等の掛け軸があり、お十夜と文化祭には町民に公開しています。



6 夏秋蚕倉庫跡

住 所 石芝3-10-20 町会名 石芝

夏秋蚕かしゅうさんの飼育用桑葉保管用庫として使用。蚕糸試験場は蚕の餌である桑の葉を低温で保つために煉瓦造りとした。桑の木は近代的な高刈(地上40~50cmから枝を出す)の桑園でした。

昭和27年石芝西町会(現・石芝町会)発足後、公民館として昭和57年まで使用していました。現在は解体され、信明中学校の敷地の一部となっています。

